令和８年度　学力・学習状況調査結果

岬町教育委員会

（１）調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教科指導の充実や学習状況の改善等に 役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

（２）対象学年

小学校第 6 学年、義務教育学校前期課程第 6 学年、支援学校小学部第 6 学年
【岬町：実施校数・児童数 3 校 84 人】

中学校第 3 学年、義務教育学校後期課程第 3 学年、支援学校中学部第 3 学年
【岬町：実施校数・生徒数 1 校 67 人】

（３）実施日 令和８年4月23日（木）

（４）調査内容

①教科 に関する調査
・小学校等 【国語・算数】
・中学校等 【国語・数学・英語】

②質問調査
（児童生徒に対する調査、
学校に対する調査）

【今年度調査の特徴】

※中学校の英語については３年ぶりの実施
※理科は３年に一度程度の実施のため実施せず
※中学校英語はCBT・IRT方式にて実施
※質問調査は原則オンライン方式により実施

各教科の状況

小学校国語

学習指導要領の内容		岬町の平均正答率（%）
知識及び技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	64.6
	情報の扱い方に関する事項	54.8
	我が国の言語文化に関する事項	-
思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	55.2
	書くこと	38.7
	読むこと	66.1

「読むこと」において、「文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること」や、「話や文章の種類とその特徴について理解すること」は概ねできている。
一方で、「書くこと」において、「引用して自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること」や、「話すこと・聞くこと」において、「資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること」、「読むこと」において「目的に応じて、必要な情報を見つけること」などに課題がある。

小学校算数

学習指導要領の領域及び評価の観点		岬町の平均正答率（%）
領域	数と計算	57.4
	図形	57.1
	測定	75.0
	変化と関係	34.9
	データの活用	46.4
評価の観点	知識・技能	58.8
	思考・判断・表現	43.8

「図形」の領域では、「立方体の体積の計算による求め方」について概ね理解しているが、「体積の意味について理解しているか」については課題がある。
一方で、「数と計算」「変化と関係」の領域において、「基準量、比較量、割合の関係を正しく捉えること」に課題がみられる。また、「データの活用」の領域において、「示された条件を基に、調べたい数量の求め方を数や言葉を用いて記述すること」や、「二次元の表から条件に合う数を読み取ったりすること」に課題がある。

中学校国語

学習指導要領の内容		岬町の平均正答率（%）
知識及び技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	70.9
	情報の扱い方に関する事項	67.9
	我が国の言語文化に関する事項	-
思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	65.4
	書くこと	70.0
	読むこと	60.1

「言葉の特徴や使い方に関する事項」のうち、「助動詞の働き」や「単語の類別」、「単語の活用」などについてはよく理解できている。「書くこと」において、「表現の効果を考えて描写すること」や、「読むこと」において、「文章の中心的な部分と付加的な部分について叙述を基に捉えること」は概ねできている。
一方で、「文脈に即して正しく漢字を書き、語句を文章の中で使うことができる」ことや、「読むこと」において「文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすること」に課題がある。

中学校数学

学習指導要領の領域及び評価の観点		岬町の平均正答率（%）
領域	数と式	70.5
	図形	53.4
	関数	64.2
	データの活用	60.7
評価の観点	知識・技能	68.6
	思考・判断・表現	44.5

「関数」において、「反比例の関係を表す表の特徴を捉えること」や、「与えられた表やグラフから必要な情報を適切に読み取ること」は概ねできている。また、「データの活用」において、「起こり得る場合を樹形図や二次元の表を利用するなどして整理し、確率を求めること」や、「箱ひげ図と四分位数の対応について理解すること」は概ねできている。
一方で、「図形」において、「具体的な事象を基に、証明する事柄の仮定を見いだすこと」や、「関数」において「数学的に表現したことを事象に即して解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること」などに課題がある。

中学校英語

全生徒が取り組んだ公開問題における学習指導要領の領域及び評価の観点		岬町の平均正答率（%）
領域	聞くこと	65.9
	読むこと	54.9
	話すこと	32.1
	書くこと	52.8
評価の観点	知識・技能	66.5
	思考・判断・表現	44.7

「聞くこと」において、「日常的な話題について、目的に応じて必要な情報を聞き取ること」や「日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して必要な情報を聞き取ること」は概ねできている。
一方で、「話すこと」において「社会的な話題に関して聞いたことについて、考えとその理由を話すこと」や、「書くこと」において、「社会的な話題について、短い文を読み、要点を捉え、考えとその理由を書くこと」や「日常的な話題について、事実や自分の考え、気持などを整理し、まとまりのある文章を書くこと」などに課題がある。

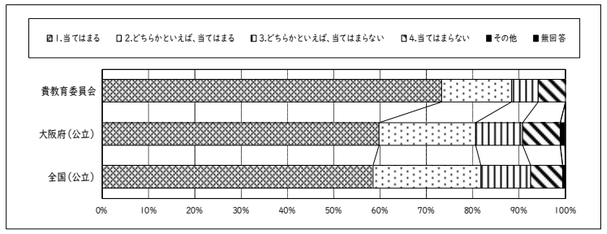
令和８年度　全国学力・学習状況調査　　児童生徒質問調査結果

岬町教育委員会

○将来の夢や目標を持っていますか

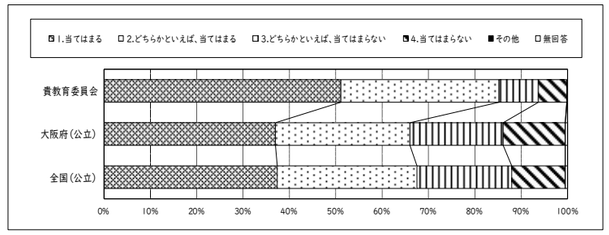
小学校

選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	73.3	15.1	5.8	5.8							0.0	0.0
大阪府（公立）	59.8	20.9	10.1	8.1							0.0	1.0
全国（公立）	58.6	23.2	10.8	6.8							0.0	0.6



中学校

選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	51.2	34.1	8.5	6.1							0.0	0.0
大阪府（公立）	37.0	29.0	20.2	13.3							0.0	0.5
全国（公立）	37.4	30.2	20.5	11.5							0.0	0.4

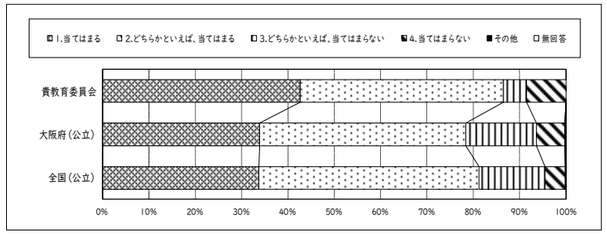


○肯定的回答の割合(小 88.4%,中 85.3%)は、昨年度より小で1ポイント下がったが、中で16ポイント上昇し、全国・大阪府と比較しても高い値となっている。 自己理解を深める教育やキャリア教育を今後も充実・推進していくことが必要である。

○地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。

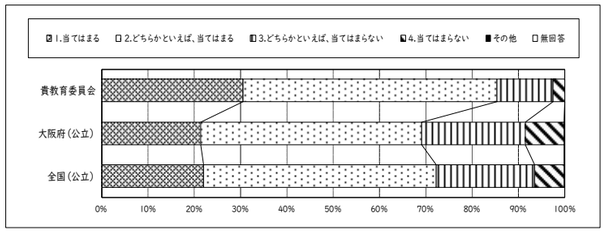
小学校

選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	38.4	51.2	8.1	2.3							0.0	0.0
大阪府（公立）	33.0	45.3	16.4	5.0							0.0	0.2
全国（公立）	31.9	48.2	15.9	3.9							0.0	0.1



中学校

選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	30.5	54.9	12.2	2.4							0.0	0.0
大阪府（公立）	21.4	47.8	22.4	8.3							0.0	0.2
全国（公立）	22.1	50.2	21.2	6.4							0.0	0.1

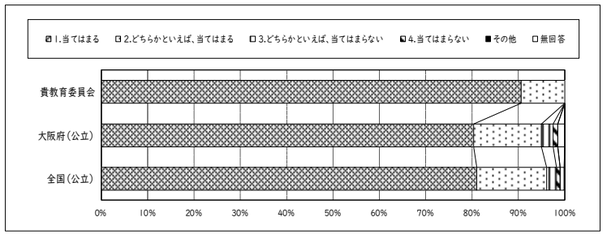


○肯定的回答の割合(小89.6%,中 85.4%)は、全国・大阪府と比較して高く、昨年度と比べても小で３ポイント、中で7ポイント高くなっている。今後も、道徳教育や地域と協働した人権教育・地域学習、ボランティア活動などを継続していくことが必要である。

○いじめは、どんなことがあってもいけないことだと思いますか。

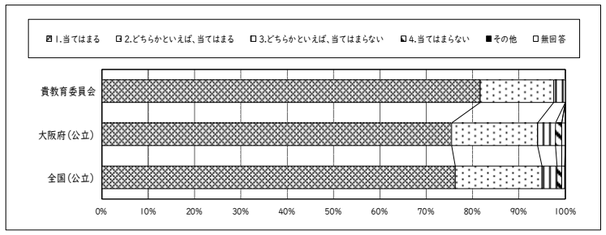
小学校

選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	90.7	9.3	0.0	0.0							0.0	0.0
大阪府（公立）	80.4	14.6	2.5	1.1							0.0	1.4
全国（公立）	81.1	15.1	2.1	0.8							0.0	0.8



中学校

選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	81.7	15.9	2.4	0.0							0.0	0.0
大阪府（公立）	75.6	18.4	3.9	1.4							0.0	0.8
全国（公立）	76.3	18.8	3.2	1.0							0.0	0.6

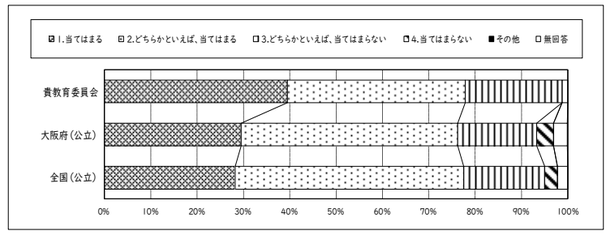


●小学校、中学校ともに、「当てはまらない」の回答は0%であったが、「どちらかといえば当てはまらない」と回答している児童生徒もあった。自信をもって「いじめはだめ」と言える子どもを育てるために、さらに人権教育及び仲間づくり、いじめをなくす取り組みの推進が必要である。

○授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。

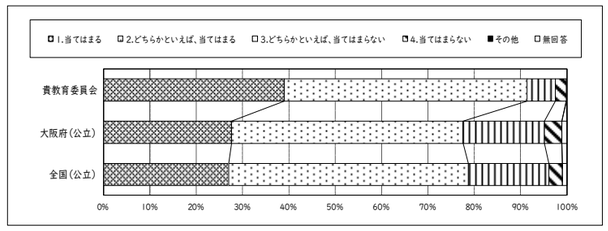
小学校

選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	39.5	38.4	20.9	0.0							0.0	1.2
大阪府（公立）	29.5	46.8	17.0	3.6							0.0	3.0
全国（公立）	28.3	49.3	17.4	2.8							0.0	2.2



中学校

選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	39.0	52.4	6.1	2.4							0.0	0.0
大阪府（公立）	27.7	50.0	17.5	3.7							0.0	1.1
全国（公立）	27.0	51.8	17.4	2.9							0.0	0.9

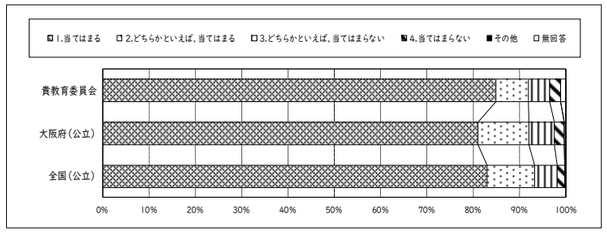


○学習指導要領の趣旨を踏まえた「主体的・対話的で深い学び」のうち、主体的に取り組んだと肯定的に考えている割合（小 77.9%,中 91.4%）が、とりわけ強肯定の割合において全国・大阪府と比較しても高い。回答項目ごとの正答率・スコアを教科ごとに集計すると、主体的に学習に取り組んだと考える児童生徒ほど、各教科の正答率・スコアが高い傾向がみられた。今後も、児童生徒が自ら課題を設定し、自分で考え取り組むことができる授業づくりを進めること が必要である。

○朝食を毎日食べていますか。

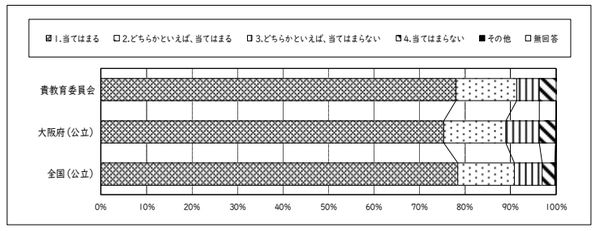
小学校

選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	84.9	7.0	4.7	2.3							0.0	1.2
大阪府（公立）	81.1	11.0	5.4	2.2							0.0	0.3
全国（公立）	83.1	10.2	4.9	1.6							0.0	0.2



中学校

選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	78.0	13.4	4.9	3.7							0.0	0.0
大阪府（公立）	75.3	13.6	7.4	3.6							0.0	0.2
全国（公立）	78.4	12.5	6.1	2.8							0.0	0.2

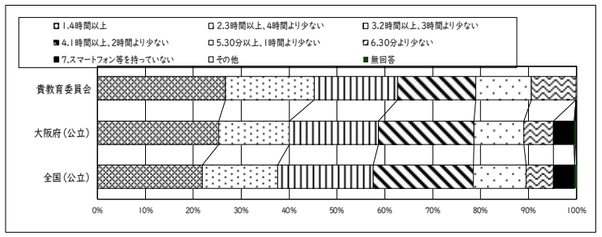


○朝食を抜くことがある児童生徒は小学校で約15%、中学校で約22%となり、昨年度より小で9ポイント、中で10ポイント改善した。また「毎日、同じくらいの時刻に寝ているか」の項目の否定的回答は、小15%、中17%となり、昨年度より小で6ポイント、中で10ポイント改善した。引き続き、家庭や関係機関との連携をより大切にしていく必要がある。

○普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等（以下、「スマートフォン等」）でSNSや動画視聴などをしますか（スマートフォン等を使って学習する時間やゲームをする時間は除く）

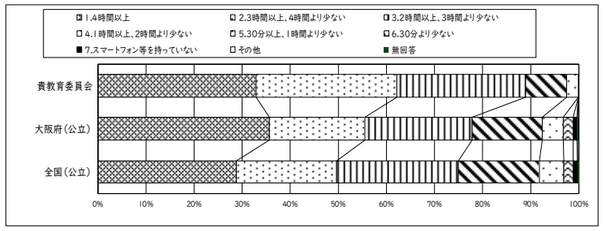
小学校

選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	26.7	18.6	17.4	16.3	11.6	9.3	0.0				0.0	0.0
大阪府（公立）	25.3	14.7	18.7	19.9	10.4	6.2	4.3				0.0	0.3
全国（公立）	21.9	15.7	20.0	20.9	11.0	5.7	4.5				0.0	0.3



中学校

選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴教育委員会	32.9	29.3	26.8	8.5	2.4	0.0	0.0				0.0	0.0
大阪府（公立）	35.6	20.0	22.3	14.5	4.4	2.0	0.9				0.0	0.2
全国（公立）	28.8	20.8	25.3	16.9	5.1	1.9	1.0				0.0	0.2



○平日のSNSや動画視聴等の利用時間は、全国・大阪府と比べて高い傾向が続いているのは引き続き課題である。回答項目ごとに正答率・スコアを集計すると、小中学校ともに、利用時間が長い児童生徒ほど各教科の正答率・スコアが低い傾向がみられる。課題を保護者地域と共有し、家庭と連携した取り組みを推進していくことが大切である。